

こころづくり部の取り組み

こころづくり部では、子どもの自尊感情を高める活動を通して、子どもたちの「自治力」や、「内なる規範意識」の向上を図ります。

1、自尊感情を高める取り組み

(1) 異学年交流（先輩が後輩を鍛える活動）

上学年の児童が、下学年の児童を鍛えることで、自分の存在を確認し、できることで自信を持つことをねらいとして取り組んだ。上学年が水泳や体力テスト、マラソン、リコーダーなどを1時間みっちり教え鍛えた。下学年の児童は、上学年に追いつこうと、普段にないがんばりをみせた。本活動で、縦の関係もうまれ、子どもら同志の信頼関係も深まった。今後、鍛える活動を通して人間関係を深め活動自体を、校風にまで高めていけたらと思う。



(2) チャレンジ100

本校ではすべての児童と教職員が自己目標を設定して取り組む「チャレンジ100」が4年目になる。最初は運動場100周、手伝い100回、挨拶100回など短期間に達成できる目標を立て、達成する児童が多かったが、本年度は前回よりもハードルをあげて目標を設定するというルールを掲げ、内容にこだわったため2月1日現在の達成者は54人で全校児童の15%にとどまっている。しかし水やり100日、腹筋100回100日など達成に少なくとも100日を要する目標を設定した児童が多く、達成者は取り組んだ充実感や自尊感情を味わうことができた。達成者が多いクラスでは、写真に示すように視覚提示をし、互いに励まし合っていたことが分かった。子ども達はあるときはライバルとして、あるときは支援者として、互いに切磋琢磨し、やり遂げることで、次のステップに挑戦した。

